

パ - マカルチャデザインコ - ス 第2回 (1日目) (深見記)

2008年4月26日(土)

参加者 福嶋さん、橋村さん、梅木さん、麻生さん、常富さん、波多野さん、井上さん  
徳永さん、長瀬産、前田さん、陶山さん、潟山さん、武田さん、野口さん、深見  
講師 設楽さん

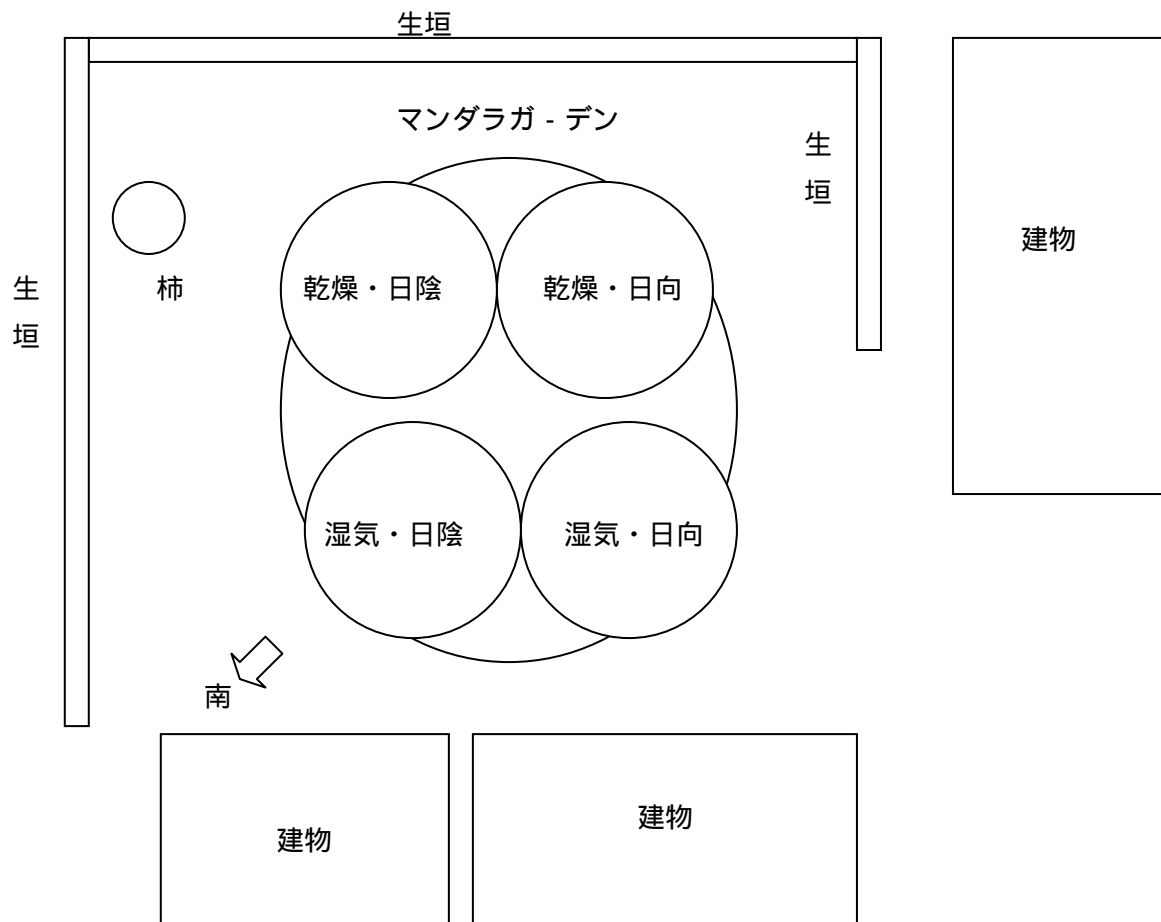
事務局 松下さん、山口さん、赤星さん、西津さん

1. 第1回目の復習

2. マンダラガ - デン視察

地形の観察

- ・ 太陽の動きの確認 日向と日陰の出来具合
- ・ 水の流れる方向、地形の高低差
- ・ 風への対策 南西に防風林(台風)、北東の樹木(霜よけ)



- ・ 植物の原産で植える環境がわかる トマト、ジャガイモ アンデス原産乾燥を好む  
ナス、ネギ、人参、里芋、大豆 水分を好む
- ・ 積層マルチ C,N,C,N Cは紙等、Nは堆肥、鶏糞等 最後には10cmぐらい  
藁を敷く、藁がない場合は落ち葉でもOK、 苗を植えること(種は育たない)

- ・ コンパニオンプランツ 一緒に食べておいしいもの  
バジルとトマト ネギとジャガイモ
- ・ 春先植えるもの キャベツ、ブロッコリ -、レタス
- ・ かぼちゃは混じりやすいので 瓜などと 離して植えること

### 3 . 講義

システムとパター - ン

システム 仕組み

└ 効率、恒常性

システム論 (ベルタランフィ)

科学は 還元主義をとる

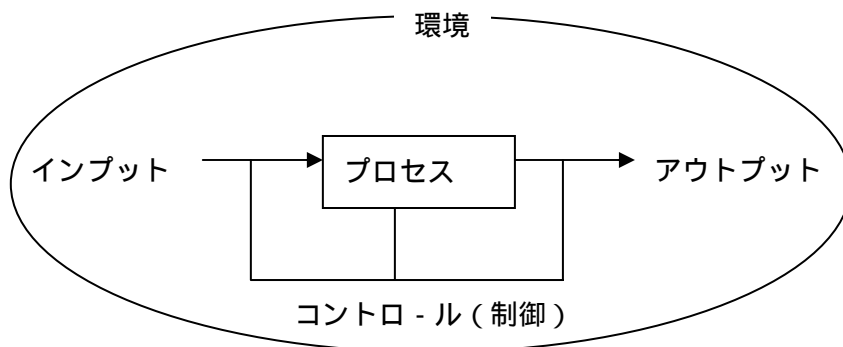
大きなものから小さなものに分解して要素に分けて機能进行分析

最後は原子に行き着く 原子は 核 (陽子、中性子) と 電子

に分解され、中身は空

物の本質は構成単位ではなく関係性の中にある。

物の組み合わせ方

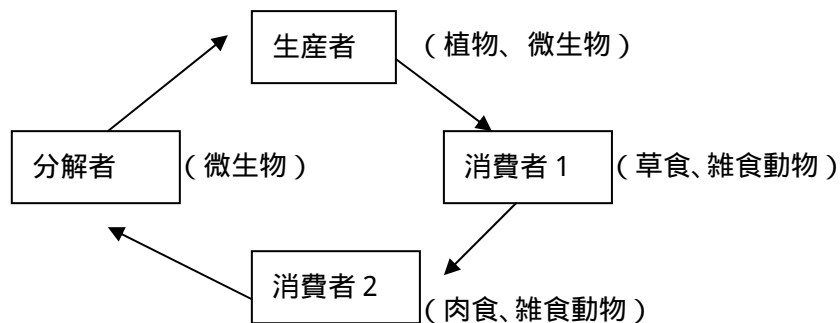


システムの命は恒常性

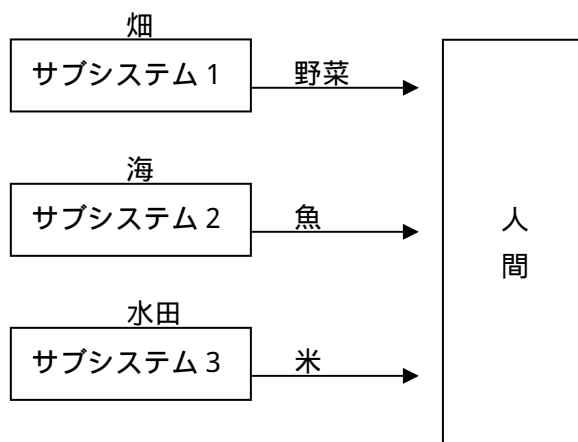
自然が持っているシステムの恒常性

ガイア仮説 (ラブロック) ホメオタシス

食物連鎖



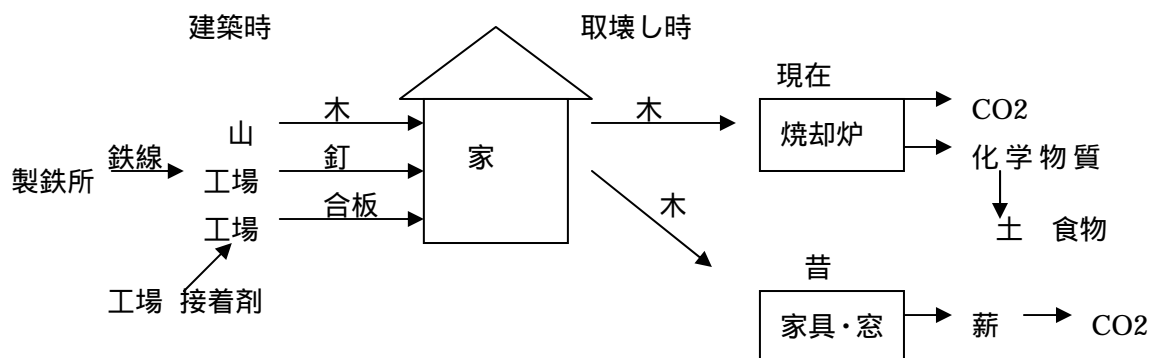
## サブシステム



同じ役割のバックアップシステムがたくさんある  
それぞれに関連性をつける。

ゆりかごから墓場まで 最初から最後まで見えることが大切

### 家の例



パタ - ン = 形・型

自然の共通の型 (パタ - ンの例)

- ・渦巻き、らせん、(つる、竜巻、DNA、貝、つむじ)
- エネルギー - が流れやすい形
- ・枝分かれ (木、川)
- ・波型
- ・丸 (太陽、種)
- ・放射状
- ・左右対称
- ・星型、指型
- ・リズム
- ・無限大 フロ - ホルム
- ・卵型

- ・ 柳 宗理 (新しいデザインの調理器具)
- ・ アフリカのデザイン シンボル化したものが本物以上リアリティを持つ。

PC の倫理

- ・ 地球に対する配慮
  - 生物の多様性、地球は「森になりたがっている」意味を考える
  - \* 配慮とは 相手の立場に立って考えること
- ・ 人間に対する配慮
- ・ 余剰物の分配

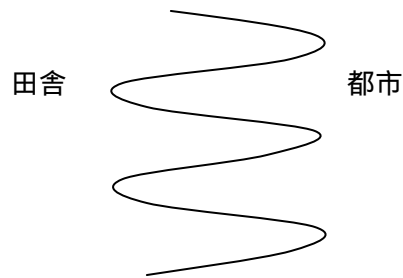
都会を森にする。 人口 70~80%は都会に住んでいる

- \* 都市を森にする方法論を討議 (地下に住む、都市の食料自給率を 100%に、ビルの屋上や壁面を緑化、住民は高層ビルへ開いた土地を緑化)

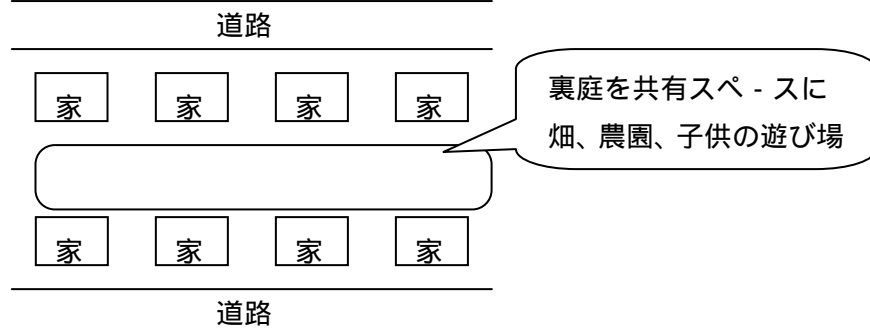
田園都市 [エベネザー・ハワード](#)

「パタ - ンランゲ - ジ」(アレクサンダ - ) 必読書

例： フィンガ - 状の都市と田舎



例： アメリカ Nストリ - ト カリフォルニア州デ - ビス



新しいコミュニティ作りへとつながる。